「ロボット大賞」

THE ROBOT AWARD

優れたロボットを表彰します

「ロボット大賞」は、我が国のロボット技術の革新と用途拡大及び需要の喚起を促すため、活躍したロボットの中から市場創出への貢献度や期待度が高いロボット、ロボットに関連するビジネス・社会実装、要素技術、研究開発及び人材育成を表彰する制度です。

第13回ロボット大賞は2028年度実施予定!

第13回ロボット大賞 募集要項（予定）

表彰位（第12回 ロボット大賞のもの）

大臣賞
（経済産業大臣賞/総務大臣賞/文部科学大臣賞/厚生労働大臣賞/農林水産大臣賞/国土交通大臣賞）

全応募のうちそれぞれの大臣が行う政策上の観点から、最も優秀であると認められるロボット等に対して各大臣賞を授与します。

中小企業庁長官賞
（中小・ベンチャー企業賞）

中小企業及びベンチャーからの応募のうち特に優秀であると認められるロボット等に対して中小企業庁長官賞を授与します。

日本機械工業連合会会長賞

ロボット産業の振興において特に優れたロボット等に対して日本機械工業連合会会長賞を授与します。

優秀賞

各部門及び各分野において特に優秀であると認められるロボット等に対して優秀賞を授与します。

審査員特別賞

上記の他に、表彰に値するロボット等に審査員特別賞を授与することがあります。

部門

- ビジネス・社会実装部門
- ロボット応用システム部門
- ロボット部門
- 要素技術部門
- 高度ICT基盤技術部門
- 研究開発部門
- 人材育成部門

分野

- ものづくり分野
- サービス分野
- ICT利活用分野
- 介護・医療・健康分野
- 社会インフラ・災害対応・消防分野
- 農林水産業・食品産業分野

応募のポイント

ポイント1：既に市場実績のあるロボットのみでなく、研究開発段階のものであっても近い将来社会で活躍できる期待のあるロボットは募集の対象となります。
ポイント2：ロボットメーカーのみでなく、ロボットユーザー、ロボットシステムインテグレータもビジネス・社会実装部門などで応募が可能です。

★今までの受賞企業から、受賞したことにより、契約数の増、広告効果（知名度・ブランド力向上）、研究の発展・加速などに効果があったとの評価が寄せられています★

●2027年度の募集は行いません。2028年度の実施概要が決定しましたら「ロボット大賞」ウェブサイト（http://robotaward.jp/）にてお知らせします。

応募方法

公式ウェブサイトからエントリー
エントリー開始: 2027年12月上旬

↓

エントリー後に案内される応募フォームに必要事項を入力し、ロボットの動作が確認できる動画データ等の資料をアップロード

↓

応募完了

審査方法

一次審査
（書類審査）

↓

二次審査
（現地調査）

↓

最終審査
（応募者プレゼンテーション）

↓

表彰式

「ロボット大賞」詳細は「ロボット大賞」ウェブサイトにてご覧ください。 ロボット大賞 検索
※2027年度の募集は行いません。

「ロボット大賞」公式ウェブサイト http://robotaward.jp/
「ロボット大賞」運営事務局 E-mail info@robotaward.jp

共催 経済産業省（幹事）、一般社団法人 日本機械工業連合会（幹事）、総務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、国土交通省

KEIRIN
このリーフレットは、競輪の補助により作成しました。

第１回～第12回ロボット大賞では149件の優れたロボット、部品・ソフトウェアが表彰され、社会の幅広い分野で活躍しています。

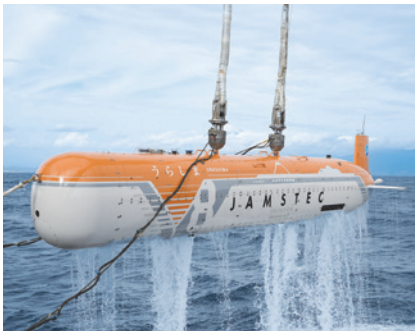
第12回 ロボット大賞



経済産業大臣賞

自在型自動倉庫「ラピュタASRS」

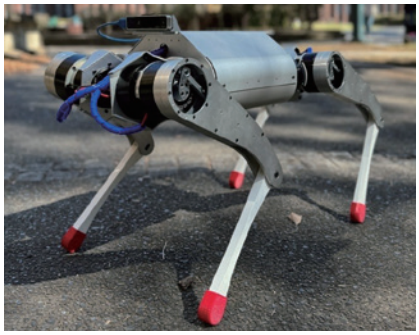
ラピュタロボティクス株式会社



総務大臣賞

深海巡航探査機「うらしま8000」

国立研究開発法人海洋研究開発機構



文部科学大臣賞

オープンソース四脚ロボットMEVIUS

東京大学



農林水産大臣賞

水田除草ロボット
ミズニゴール

株式会社ハタケホットケ



国土交通大臣賞

覆工コンクリート
自動打設ロボット
「セントルフューチャーズ®」

戸田建設株式会社／
大栄工機株式会社／
ムネカタインダストリアル
マシナリー株式会社／
株式会社JUST.WILL／
株式会社北斗工業



中小企業庁長官賞
(中小・ベンチャー企業賞)

蠕動運動型管内検査・清掃ロボット「Sooha」

株式会社ソラリス／中央大学(中村 太郎、伊藤 文臣)／
法政大学(山田 泰之)



日本機械工業連合会
会長賞

メンテナンスフリーロボット
R-2000/Eシリーズ

ファナック株式会社



日本機械工業連合会
会長賞

マウス尾静脈自動注射システム・
AUTiv(オーティヴ)

株式会社 Preferred Networks



優秀賞
(介護・医療・健康分野)

FORRO(フォーロ)による
医療現場に対応した配送サービス

川崎重工業株式会社



優秀賞
(社会インフラ・災害対応・消防分野)

送電線ドローン点検ソリューション
「BEPライン」

ブルーイノベーション株式会社



優秀賞
(農林水産業・食品産業分野)

小型協働パレタイズロボット
Palletizy

株式会社Closer



優秀賞
(ビジネス・社会実装部門)

自動フォークリフト
AutoFork

株式会社ハクオウロボティクス



優秀賞
(ロボット部門)

全自動墨出ロボットプリンター
「ロボプリン®」

株式会社ROBOSHIN／鹿島建設株式会社

第12回ロボット大賞時 共催・協力団体

共催： 経済産業省(幹事)、一般社団法人日本機械工業連合会(幹事)、総務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、国土交通省

協力： 独立行政法人中小企業基盤整備機構、国立研究開発法人科学技術振興機構、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構、国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所、国立研究開発法人水産研究・教育機構、国立研究開発法人日本医療研究開発機構、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構、地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター、公益社団法人計測自動制御学会、公益社団法人自動車技術会、公益社団法人精密工学会、公益社団法人日本食品科学工学会、公益社団法人日本船舶海洋工学会、公益社団法人日本べんとう振興協会、公益社団法人日本リハビリテーション医学会、公益財団法人テクノエイド協会、公益財団法人医療機器センター、一般社団法人i-RooBO Network Forum、一般社団法人映像情報メディア学会、一般社団法人再生医療イノベーションフォーラム、一般社団法人人工知能学会、一般社団法人電子情報通信学会、一般社団法人日本医療機器産業連合会、一般社団法人日本機械学会、一般社団法人日本建設機械施工協会、一般社団法人日本義肢装具学会、一般社団法人日本原子力学会、一般社団法人日本建設機械工業会、一般社団法人日本航空宇宙学会、一般社団法人日本コンピュータ外科学会、一般社団法人日本産業車両協会、一般社団法人日本食品機械工業会、一般社団法人日本人間工学会、一般社団法人日本農業機械化協会、一般社団法人日本農業機械工業会、一般社団法人日本包装機械工業会、一般社団法人日本UAS産業振興協議会、一般社団法人日本リハビリテーション工学協会、一般社団法人日本ロボット学会、一般社団法人日本ロボット外科学会、一般社団法人日本ロボット工業会、一般社団法人日本ロボットシステムインテグレータ協会、一般社団法人ライフサポート学会、一般社団法人林業機械化協会、一般社団法人日本生活支援工学会、一般社団法人日本計量機器工業連合会、一般社団法人日本工作機械工業会、一般社団法人日本産業機械工業会、一般社団法人日本自動車工業会、一般社団法人日本電機工業会、一般社団法人 日本電気制御技術工業会、一般社団法人日本食品工学会、一般社団法人日本福祉用具・生活支援用具協会、一般社団法人日本物流システム機器協会、一般財団法人橋梁調査会、一般財団法人先端建設技術センター、社会福祉法人全国社会福祉協議会、特定非営利活動法人国際レスキューシステム研究機構、一般社団法人農業食料工学会、ロボット革命・産業IoTイニシアティブ協議会、サービス学会、サービス産業生産性協議会、特定非営利活動法人横断型基幹科学技術研究団体連合、日本介護用入浴機器工業会、一般社団法人 情報通信ネットワーク産業協会、一般社団法人　電子情報技術産業協会、一般社団法人 テレコムサービス協会、一般社団法人 日本インターネットプロバイダー協会、一般社団法人 日本総菜協会、建設RXコンソーシアム、一般社団法人AIロボット協会、公益社団法人 日本包装技術協会(73団体。順不同)

「ロボット大賞」運営事務局　E-mail：info@robotaward.jp